



熊本県立玉名高等学校

玉名高等学校附属中学校

所在地 〒865-0064 熊本県玉名市中1853

校長 西澤 頼孝

電話番号 0968-73-2101

FAX 0968-73-3436

ホームページ <http://sh.higo.ed.jp/tamana/>

交通機関 JR玉名駅から徒歩5分

九州産交バス「玉名高校前バス停」から徒歩1分



「白亜の殿堂」と呼ばれる本館（文化庁登録有形文化財）



玉高キャラクター

わかまる

3 教育方針および教育目標

校訓「至誠・剛健・進取」の具現化に努め、「徳・体・知」の調和がとれた全人教育をめざします。

「夢実現・未来への挑戦」をスローガンに掲げ、自ら学び考える創造性と情熱豊かな生徒の育成、他の人も自分も大切にする生徒の育成、故郷や日本、世界に貢献しようとする生徒を育成します。

4 重点課題と取組

高校（全日制）では、生徒の8割以上が4年制国立公立大学進学を希望している状況のもと、「県内有数の進学拠点校として、心を育て、全国難関大等への進学を実現」することを重点課題として取り組んでいます。

本年度、附属中学校は開校10年目の節目を迎えました。併設型中高一貫教育校の特性を生かした「先取り学習指導」や「深さや広さを追究する学習指導」について、中高の連携・接続をより一層深めるため、令和3年度から高校に「特進クラス」を設置します。

高校（定時制）では、「働きながら学ぶ」生徒一人一人の個性を大切にして、①健全な心身の育成、②学力の向上と進路指導の充実、③地域や保護者に信頼される学校づくりに取り組んでいます。

5 教育活動の特色

【体育祭】

高校全日制と附属中学校の合同で、5月に開催されます。生徒会役員や応援団の生徒がリーダーシップを発揮し、生徒自ら作り上げる玉高の伝統行事です。なかでも高校生が作り上げる「人文字」は有名で、毎年大勢の皆様が楽しみに来校していただきます。



伝統の人文字「GOGO玉名」

1 在籍者数（令和2年4月8日現在）

【高校全日制（普通科）】

1年生		2年生		3年生		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女
127	135	115	118	129	146	371	399
262		233		275		770	

【高校定時制（普通科）】

1年生		2年生		3年生		4年生		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
11	6	7	2	3	4	4	0	25	12
17		9		7		4		37	

【附属中学校】

1年生		2年生		3年生		合計	
男	女	男	女	男	女	男	女
33	47	31	48	44	36	108	131
80		79		80		239	

2 学校の沿革

本校は、明治36年に開校した熊本県立熊本中学校玉名分校（明治39年に熊本県立玉名中学校として独立）と、明治45年に開校した熊本県玉名郡立実科高等女学校（大正12年に熊本県立高瀬高等女学校と改称）を前身に、昭和23年の学制改革により熊本県立玉名高等学校となりました。平成23年には玉名高等学校附属中学校を併設し、本年度（令和2年度）創立117年目を迎えました。

卒業生数は4万人を超え、なかには、日本人初のオリンピック選手としてストックホルム大会に出場した金栗四三、映画「男はつらいよ」シリーズに柴又帝釈天の住職役で出演した笠智衆、「念ずれば花ひらく」をはじめ数多くの詩を残した坂村真民などの著名人も輩出しています。

【海外研修】

夏休み期間中、希望者を募って、カナダのバンクーバーで海外研修を実施しています。異文化を理解することやグローバルな視点で物事を考えることの大切さなど、多くのことを「実感」して帰国します。自らを振り返り、家族や周囲の人々への感謝の気持ちが高まるなど、人としての大きな成長を遂げる機会にもなっています。



【若駒祭】（文化祭）

毎年9月、高校全日制、定時制および附属中学校の合同で2日間にわたり開催されます。約3か月に及ぶ準備時間をともに過ごすことで玉高・玉附生としての一体感を高めていきます。そして、若駒祭当日には、青春のエネルギーが爆発します。



【キャリア教育の取組】

職業観や勤労観を育み、将来の目標を明確化する機会とするため、国内外で活躍されている方々を招き、「キャリア教育講演会」を年2回開催しています。これまで、林修氏（東進ハイスクール講師）や池上彰氏（ジャーナリスト）などの著名人にも来校していただき、貴重なお話を伺うことができました。その他にも、本校を卒業した現役大学生による講話「若駒キャリア塾」や、大学の先生による講義「一日若駒大学」なども開催し、生徒の「夢の実現」に向けたサポートを行っています。

6 主な進路先（令和元年度の実績）

【高校全日制】

<国公立大学>

東京大（2年連続現役合格）、大阪大、神戸大、東京学芸大、静岡大、広島大、山口大、高知大、九州大（医学部医学科含む）、九工大、佐賀大、長崎大、熊本大、大分大、鹿児島大、琉球大、神戸市立外大、北九州市立大、熊本県立大 など

<私立大学>

慶應義塾大、早稲田大、東京理科大、青山学院大、立教大、中央大、法政大、同志社大、立命館大、関西学院大、西南学院大、福岡大、崇城大、熊本学園大 など

<準大学>

防衛大、水産大 など

【高校定時制】

<進学>

崇城大、熊本総合医療リハビリテーション学院、KCS福岡情報専門学校 など

<就職>

地元企業 など

7 部活動等について

【高校全日制】

体育系部活動が19、文化系部活動17があります。令和元年度の実績としては、水泳部、ギター部が九州大会に、音楽部、箏曲部、書道部、百人一首部が全国大会に出場しました。また、コロナウイルス感染症の拡大にともない中止となった第44回全国高等学校総合文化祭や、第9回科学の甲子園全国大会の出場権を獲得するなどの活躍もみられました。

【高校定時制】

令和元年度の実績としては、熊本県高等学校定時制通信制総合体育大会で、剣道男子が優勝し、全国大会に出場しました。

【附属中学校】

体育系部活動が9、文化系部活動が7あります。なかには高校生と一緒に活動する部活動があることも附属中学校の特色です。令和元年度は、玉名荒尾中体連大会で、剣道個人の部で優勝、音楽部が九州合唱コンクール出場、科学の甲子園ジュニア全国大会出場などの実績を残しました。

